

気象庁観測点データによる真夏日日数の確認方法について

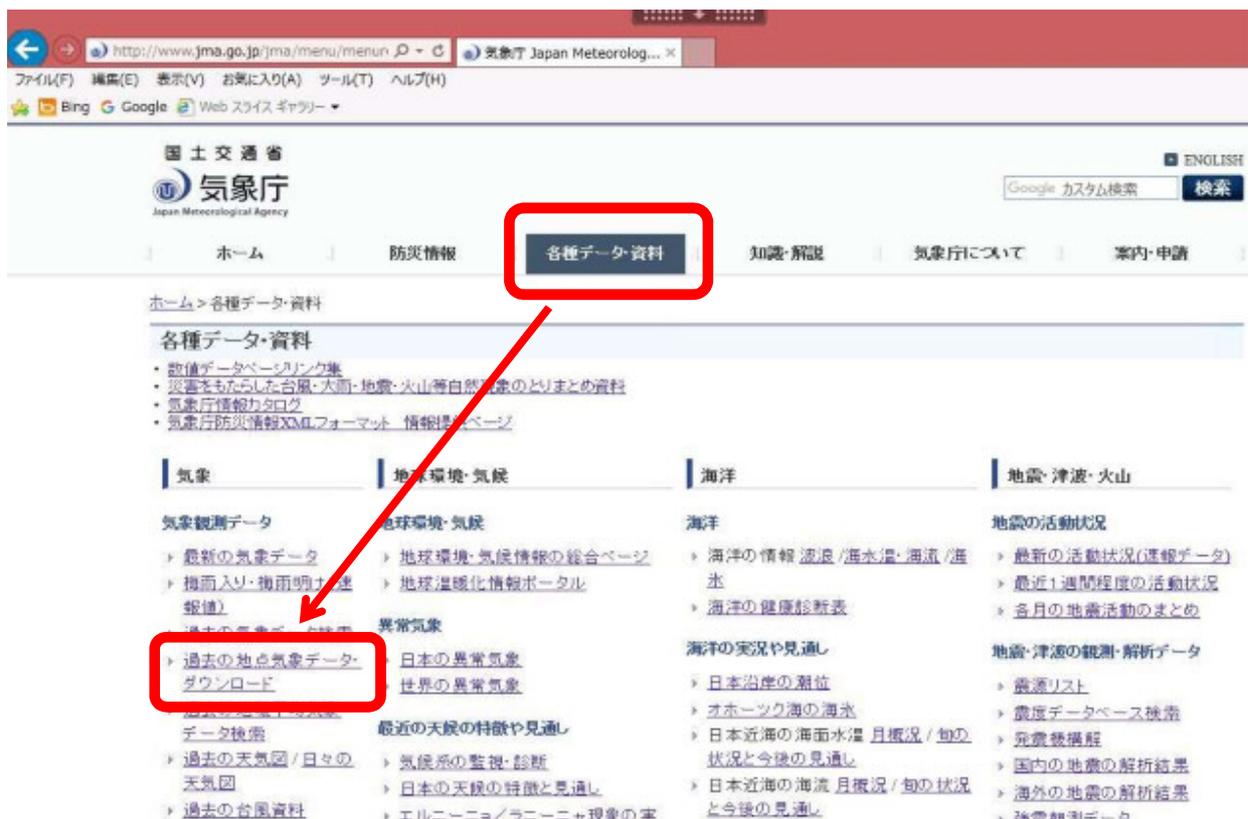
<森林整備課所管工事ver>

1. 気温データのダウンロード

(1) 気象庁ホームページ (http://www.jma.go.jp/jma/index.html) へアクセスしてください。



(2) 【各種データ資料】 → 【過去の地点気象データ・ダウンロード】を選択します。



(3) 島根県を選択します。

過去の気象データ・ダウンロード

検索条件

地点を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

画面に表示 ▶

CSVファイルをダウンロード ▶

選択地点・項目をクリア

選択された地点 観測項目

← 地点を選択してください

選択された項目

← 項目を選択してください

選択された期間 (日本標準時)

2019年1月1日から
2019年1月1日までの日別値を表示

選択されたオプション

利用上注意が必要なデータを表示させる
観測環境などの変化以前のデータを表示させる
ダウンロードデータはすべて数値で格納

(4) 観測地点を選択します。

※ 青マークの観測地点は、気温計測を実施していませんので、赤または緑マークの観測所を選択してください。

過去の気象データ・ダウンロード

検索条件

他の都道府県を選ぶ 項目を選ぶ 期間を選ぶ 表示オプションを選ぶ

選択済みのデータ量 0% 100% (上限)

画面に表示 ▶

CSVファイルをダウンロード ▶

選択地点・項目をクリア

選択された地点 観測項目

← 地点を選択してください

選択された項目

← 項目を選択してください

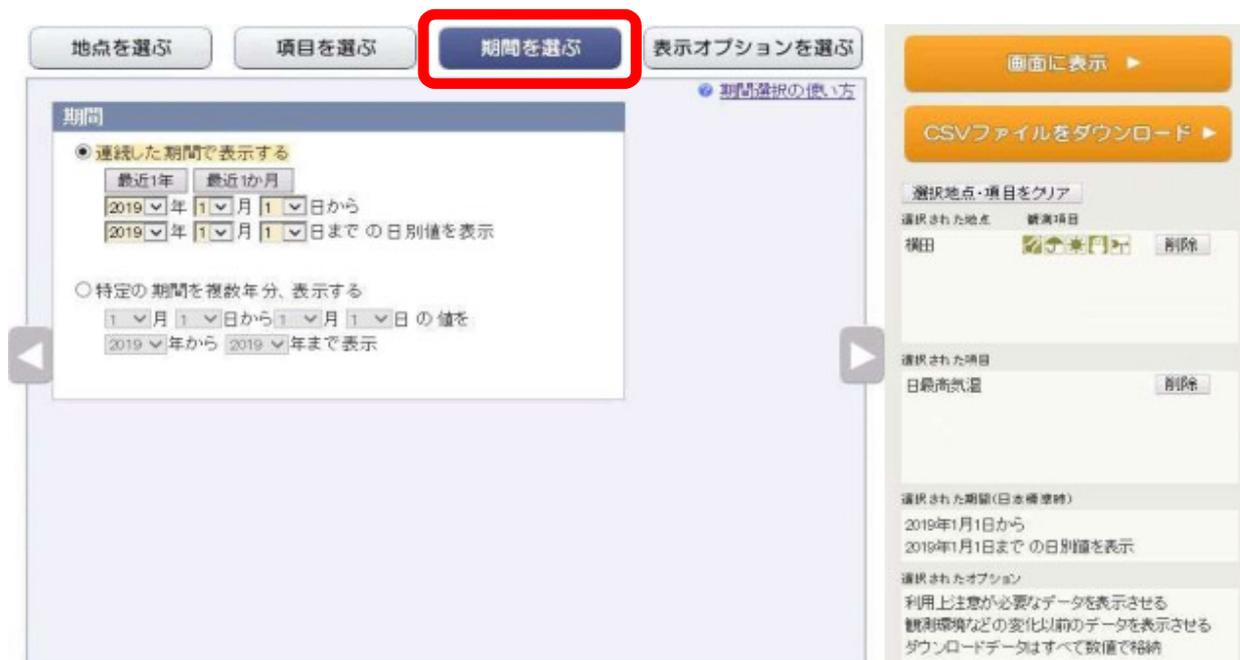
選択された期間 (日本標準時)

2019年1月1日から
2019年1月1日までの日別値を表示

選択されたオプション

利用上注意が必要なデータを表示させる
観測環境などの変化以前のデータを表示させる
ダウンロードデータはすべて数値で格納

(7) 【期間を選ぶ】を選択します。



(8) 対象となる期間を選択し、【CSVファイルをダウンロード】を選択します。



2. 標高差による気温の補正シートを用いて「補正後の気温 (°C)」を算出

- (1) 気象庁ホームページからダウンロードしたCSVファイルの【最高気温(°C)】(B列)をコピーして、標高差による気温の補正シートの対応する月の列に貼付けます。今回の例の場合は【8月】です。

気象庁 CSVファイル

年月日	最高気温(°C)	観測所	観測所	観測所
2019/8/1	33.8	8	1	
2019/8/2	35.1	8	1	
2019/8/3	33.7	8	1	
2019/8/4	35.3	8	1	
2019/8/5	34.9	8	1	
2019/8/6	28.4	8	1	
2019/8/7	32.8	8	1	
2019/8/8	34.5	8	1	
2019/8/9	33.7	8	1	
2019/8/10	35.2	8	1	
2019/8/11	33.8	8	1	
2019/8/12	34.2	8	1	

- データをコピーし、貼付け
- 貼付ける位置の誤り(月)に注意

プルダウンから観測所を選択

算出した補正後の気温(°C)をコピーして、真直日率算出シートの該当欄に張り付けてください。

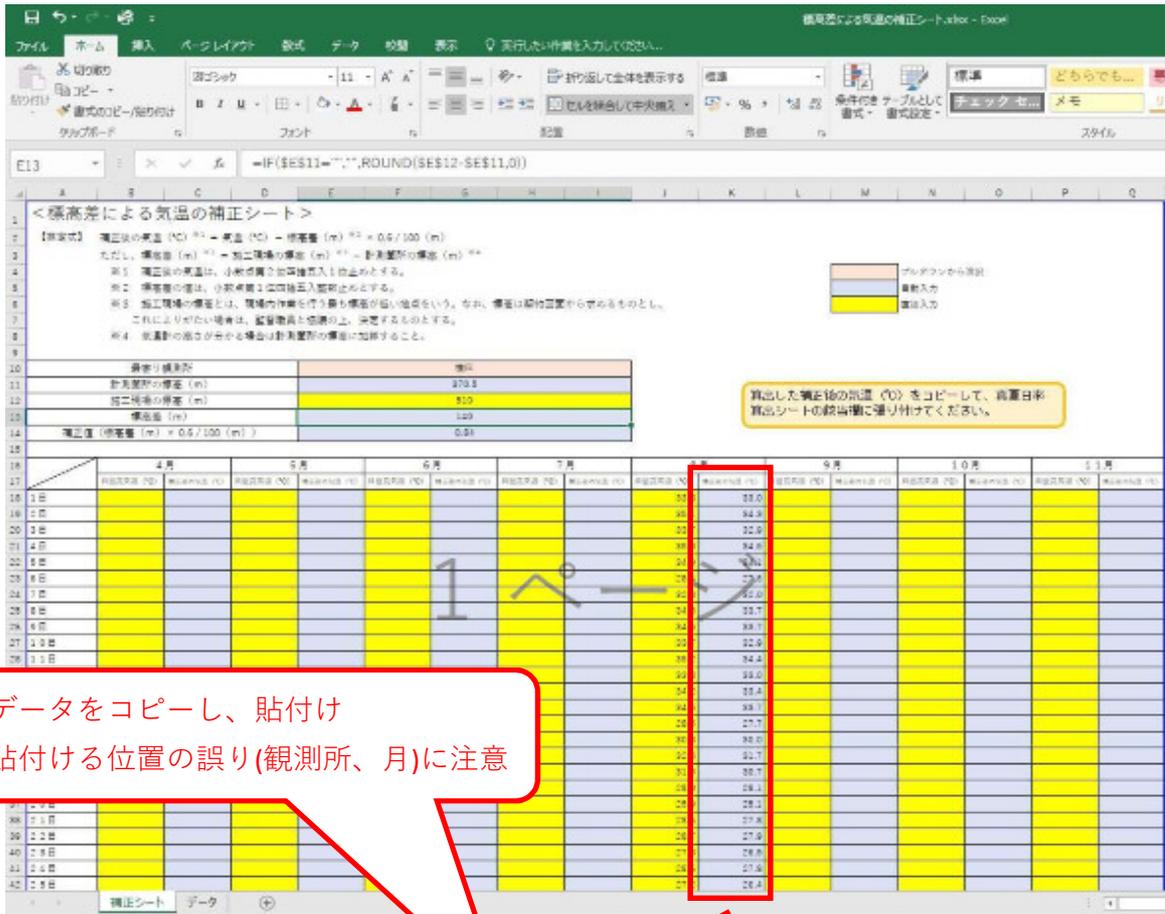
施工現場の標高を直接入力

観測所	観測所	標高
計測箇所		270.5
施工現場の標高 (m)		115
標高差 (m)		140
補正係数 (1.0 - 0.6 / 100 (m))		0.84

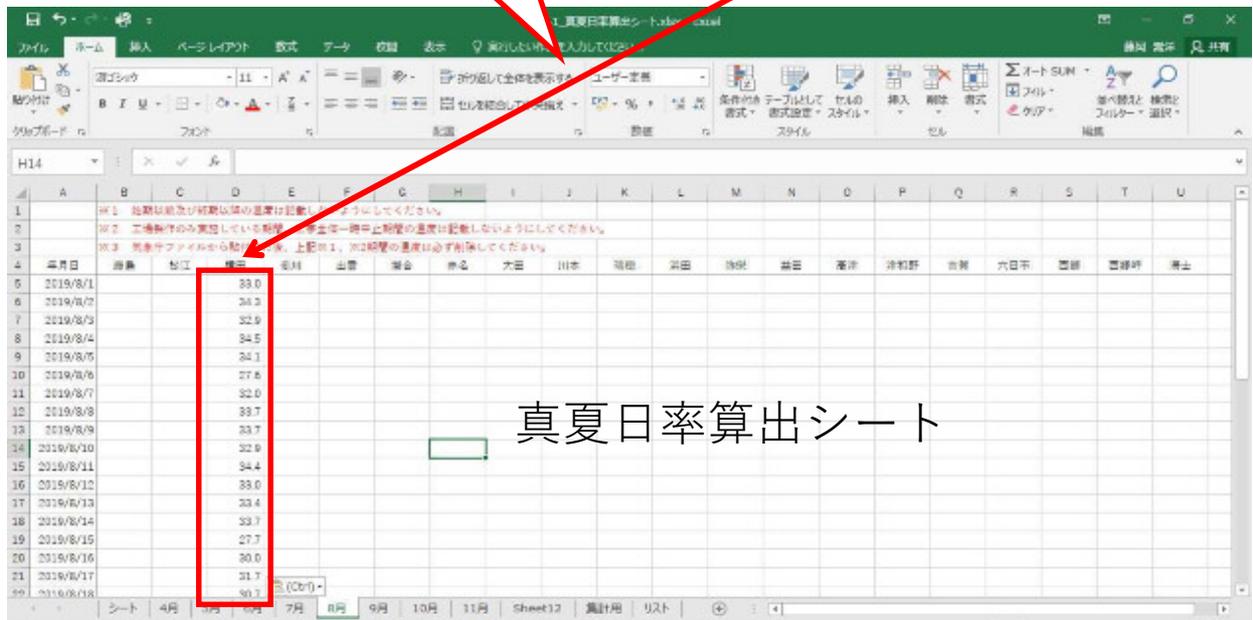
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1日					33.8	33.0		
2日					35.1	24.3		
3日					33.7	32.9		
4日					35.3	26.5		
5日					34.9	29.1		
6日					28.4	23.9		
7日					32.8	27.9		
8日					34.5	33.7		
9日					33.7	32.9		
10日					35.2	26.5		
11日					33.8	33.0		
12日					34.2	25.4		
13日					34.5	33.7		
14日					33.7	32.9		
15日					35.2	26.5		
16日					33.8	33.0		
17日					34.2	27.7		
18日					34.5	33.7		
19日					33.7	32.9		
20日					35.2	26.5		
21日					33.8	33.0		
22日					34.2	25.4		
23日					34.5	33.7		
24日					33.7	32.9		
25日					35.2	26.5		
26日					33.8	33.0		
27日					34.2	27.7		
28日					34.5	33.7		
29日					33.7	32.9		
30日					35.2	26.5		
31日					33.8	33.0		

3. 真夏日率算出シートの作成

(1) 標高差による気温の補正シートを用いて算出した補正後の気温（℃）をコピーして、真夏日率算出シートの対応する月のシートに貼付けます。今回の例の場合は【8月】です。



- ・データをコピーし、貼付け
- ・貼付ける位置の誤り(観測所、月)に注意



- 気温データを真夏日率算出シートに貼り付ける場合、以下の事項に注意してください。誤った方法とした場合、正しく計算されないことがあります。
- ※1 始期以前及び終期以降の温度は記載しないようにしてください。
 - ※2 工場製作のみ実施している期間、工事全体一時中止期間の温度は記載しないようにしてください。
 - ※3 コピーして貼付けた後、上記※1、※2期間の温度は必ず削除してください。

(2) 真夏日率算出シートの作成

- 白色セルの部分のみ入力してください。
- 欄外に従い、入力等を行ってください。

真夏日率算出シート

1. 観測地点 横田 リストから選択してください

2. 真夏日日数

月	真夏日日数
4月	0
5月	0
6月	0
7月	0
8月	16
9月	0
10月	0
11月	0
計	16

3. 工期

始期	2019/6/10	<small>入力してください</small>
終期	2019/10/20	<small>入力してください</small>

夏期休暇、年末年始の日数は固定です。実際の不稼働日とは異なります

対象外期間

夏期休暇	3	対象	<small>リストから選択してください</small>
年末年始	0	対象外	<small>リストから選択してください</small>
工場製作のみ実施している期間	0		<small>入力してください</small>
工事全体一時中止期間	0		<small>入力してください</small>

5. 工期日数 130

6. 真夏日率

16 ÷ 130 = 0.12

※ 新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防を実施した工事は、「真夏日率算出シート(コロナ対策)」により真夏日、真夏日率を算出してください。

以上、真夏日日数の算出及び真夏日率の決定協議に活用してください。